

平成22年度 第4回 (7月) 理事会議事録

- 日 時 平成22年7月8日(木) 午後6時30分～8時00分
- 会 場 社団法人大阪府臨床検査技師会事務所
- 出席者 今井、運天、竹浦、吉本、大垣、清水、荒木、田畑、井戸田、山田、宮野、酒井、栗本、山西、杉山、増田、栗本監事、山中監事、事務(岩崎)
- 欠席者 高田、出野
- 議 長 今井

【 討 議 内 容 】

I. 行動報告 (6月分)

- 6月8日 学術部会
山西
- 9日 近臨技地区連絡協議会
今井
- 9日 近臨技理事会
今井、竹浦、荒木、高田
- 10日 理事会
今井、運天、竹浦、吉本、高田、清水、荒木、田畑、井戸田、出野、山田、酒井、栗本、山西、杉山、増田、栗本監事
- 12日 南支部自由集会
田畑、出野
- 15日 渉外部会
清水
- 16日 総務・会計部会
運天、吉本、荒木、山田、酒井、杉山
- 17日 情報組織部会
運天、竹浦、井戸田、酒井、山西
- 17日 地区事業部会
田畑、出野
- 19日 医療関連指導員会合
運天、荒木
- 20日 国際部海外協力委員会解散式
今井、山田
- 23日 常務理事会
今井、運天、竹浦、吉本、荒木
- 29日 大阪府地域保健感染症課
平成21年度事業報告
運天
- 30日 支部化に対する対応および
公益法人対策部会
今井、運天、荒木

II. 経過報告

1. 日臨技 特になし

2. 近臨技

- 6月9日に地区連絡協議会と理事会が開催された。
- 6月20日に国際部海外協力委員会解散式が開催された。
- 6月30日「支部化に対する対応および公益法人対策部会」が開催された。

3. 事務局

- 〈総務部〉
6月16日に部会を開催した。
- 大臨技会報(通巻第196号)の作成について検討した。
- 賛助会員への対応について検討した。
- 大臨技会員名簿の作成について検討した。
- 個人情報保護に関する誓約書の提出を依頼した。
- 大臨技における会員管理システムについて討議した。
- 大臨技事務所用のマイク・スピーカシステムの購入に

- ついて検討した。
- 大臨技ニュース6月号を発行した。
- 大臨技ホームページを更新した。
(会計部)
6月16日に部会を開催した。
- 5月度収支決算書を作成した。
日臨技へ5月分会費の送金を行った。
(渉外部)
6月15日に部会を開催した。
- 大臨技、大放技合同フォーラムについて内容を検討した。
7月6日に第1回委員会を開催した。
- 第34回献血推進活動(8月7日実施予定)の内容について検討した。
- 第2回乳がん検診推進活動(10月16日実施予定)の内容について検討した。
- 手話講演会の内容について検討した。

4. 事業局

- 〈情報組織部〉
6月17日部会を開催した。
- 7月3日に開催する新入会員研修会の最終確認を行った。当日は、関係者を含め33名参加した。
- 財務管理研修会の内容について検討した。
- アンケート調査の内容について検討した。
総参加者数92名(一般66名(大阪60・奈良3・兵庫3):講師・部員関係者13名含む、賛助会員ほか26名(講師1名含む))
(地区事業部)
6月17日に部会を開催した。
- マタニティカーニバル2010の方針について最終の打合せを行った。7月3・4日開催2日間の参加人数は2万名を超え、ボランティアの多数参加もあった。
- 6月12日(土)に南支部自由集會を開催した。
参加人数 会員47名、賛助会員17名、非会員1名
計65名
(学術部)
6月8日に部会を開催した。

III. 他、報告

- 1. 府民フォーラムについて(竹浦副会長)
開催日時:平成22年10月30日(土)14:00～17:00
開催場所:大阪YMCA国際文化センター
大臨技の演者は、小宮山恭弘氏(大阪鉄道病院)で、タイトルは、未定。7月22日(木)14:00～15:00に薬剤師会にて最終の打ち合わせを行う。

2. 一人職場会員のための取り込みについて (今井会長)

一人職場ゆえの悩みや問題点について、情報交換の場を提供できる企画等を考えてほしいとの要望があった。

3. 公益法人会議について(運天副会長)

- 資料に基づき説明があった。
- 各都道府県の進捗状況等についてヒアリングを行った。
他府県については、あまり進展はない。学術事業は公益性あるとの見解だが、技師長会、会員交流会、新入会員研修会、広報関係については共益事業とし、総会や理事会の費用は法人会経費に含まれる。今後、各府県の進展があれば当会議を開催することとした。

4. 乳がん検診推進活動及び合同フォーラムについて (清水理事)

- 1) 合同フォーラムについて
7月6日に委員会を開催した。
テーマ:救急医療について行うこととした。
内容:検討中(時間配分を各40分とする)。
講演テーマ:9月に決定予定
予算:各14万とする。

次回委員会を9月1日に行う。

2)乳がん検診推進活動について

開催日時:10月16日(土) 14:00~17:00

開催場所:大阪府医師協同組合館 8階大ホール
(150名収容)

内容:乳がん検診の検査、治療についての講演
会を行う(冊子を配布)

企画:日臨技と共催事業とし、日臨技には企画書、
予算書を提出する。

予算:15~16万位と考えている。案に基づき説明の
結果、理事会にて承認された。セレモニーの挨拶
は、吉本常務理事をお願いした。

3)献血推進活動について

8月7日(土) 難波グリーンガーデンにて行う。

街頭呼びかけに、献血ティッシュ配布する(赤十字
よりティッシュ5,000個準備する)セレモニーの挨拶
は、清水理事が行うこととした。

5. その他

大臨技データ標準化プロジェクトの進捗状況について

1)(山西理事)

7月11日までに、プロジェクトチームにより採血お

•よびサンプル調整を行う。

7月12日に、大阪市立大学附属病院にて、基幹施設

•およびドライ試薬メーカーでプレサベイを行う。

教育セミナーのプログラム変更について

2)(竹浦副会長)

7月17日の教育セミナー演者からの要望でプログラ
ムを変更することとなった。Iワークショップ、II
教育講演 とすることを決定した。

IV.議 題

1.臨時総会の日程(案)について(吉本常務理事)

公益社団法人移行に向けて会員への対応を検討の結

•果、大臨技ニュース8月号の「うめくさ編集後記」
に、新定款(案)公開の予告記事を掲載する。

大臨技HPの会員専用ページに「公益社団法人大阪府

•臨床検査技師会定款案および現行の定款との比較表」
を掲載する。

新定款案を9月号ニュースに本文に、「新定款(案)

•公開中」および「臨時総会開催予告」記事を掲載す
る。

9月に臨時総会案内を会員に送付する。

•10月28日(木)(第4木曜)19:00~20:00、大
臨技事務所にて臨時総会を開催する。

以上について、承認された。

2.スピーカーとマイクの購入について

(吉本常務理事)

事務所を研修会等に利用するにあたり、後方での声の
聞き取りが悪いことを考慮して、スピーカーシステム
およびマイク2本の購入の提案があり、審議の結果、
購入することが承認された。

3.日臨技の動向と今後について

日臨技の今後の動向について、「JAMT」7月号に当
内容の詳細が掲載される予定であるため、その後、大
臨技・地区連絡協議会のあり方を検討していくが、現
段階で懸念される問題点について情報の提供および討
議をした。

①会費を自動振替にして施設での登録を止めて個人登
録をする事から、派生する日臨技と各都道府県技師
会が一体の関係が崩れる事の懸念がある。

②日臨技支部としての近畿と現在の近畿地区連絡協議
会としての近臨技のあり方をどう考えるか。

③日臨技が一般社団法人に移行したとき、公益法人に
移行した各都道府県技師会との間に起こるだろう問
題についても検討が必要。

会員への情報提供については、会員管理、生涯教育認
定、全国学会の開催等、多くの問題点について8月8
日開催の代議員会において日臨技の見解を確認後、正

確な情報を会員には報告する。

4.その他

プロジェクター利用の際、外部からの射光のためスク
リーンが見づらくなるため、ロールカーテンの購入希
望があり、承認された。

ボランティア参加した学生からの企業に提出用のボラ

•ンティア証明書を大臨技から発行して欲しいとの要望
があった。総務部で当証明書の雛形を作成することと
した。

日本臨床化学会近畿支部から後援依頼があった。

•